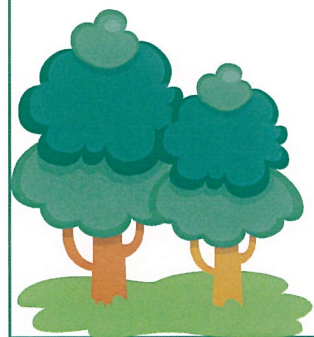


環境活動レポート

2011年度(2011年1月～2011年12月)

2012年 2月

株式会社 吉銘



— 目 次 —

1. 環境方針	P. 1
2. 事業活動の概要	P. 2
3. 環境目標と活動の実績	P. 3
・実績の経過グラフ(CO2、廃棄物量、総排水量)	P. 4
4. 環境目標の達成評価	P. 5
5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価	
5－1. 本社・新住工場の活動内容	P. 6
5－2. 田原本工場の活動内容	P. 7
5－3. 五條工場の活動内容	P. 8
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 9
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 9

1. 環境方針

< 基本理念 >

「大自然に感謝して、少しでも恩返しを」

< 行動指針 >

1. 大自然から受けた恩恵である木材を人間の知恵をもって最大限に余すことなく有効に利用し〈木を活かす企業〉として循環型の住みよい環境の実現を目指します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境パフォーマンスを自主的・継続的に改善できるように推進します。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正使用について維持管理
 - ・グリーン購入の推進
 - ・環境に配慮した原材料の使用を推進
3. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
4. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、必要に応じて環境管理レベルの向上を図ります。

この環境方針は、社外の人にも公開します。

制定日 2005年 5月21日

改定日 2010年 1月27日

株式会社 吉銘

代表取締役社長 貝本 隆三

2. 事業活動の概要

①事業所名および代表者名

株式会社 吉銘
本社(管理本部・新住工場)、田原本工場、五條工場
代表取締役社長 貝本 隆三

②所在地

本社 奈良県吉野郡下市町大字新住1118
田原本工場 奈良県磯城郡田原本町大字味間436
五條工場 奈良県五條市島野町485番地

東京支店、札幌支店、福岡営業所、特販部(奈良県橿原市)は対象外です。

環境負荷の大きい製造工場については認証範囲を拡大しています。
今後、3年以内に全社に認証拡大の予定です。

③環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境経営責任者 代表取締役社長 貝本 隆三

EA管理責任者 本社 勝村 貴志
連絡先 TEL : 0747-52-4066
FAX : 0747-52-4797
E-mail : hinkan@yoshimei.co.jp

④事業規模(2010年度)

資本金 7200万円
年商 (全社) 94.85億円
主要製品生産量(全社) 14384トン
・本社・新住工場:3240トン
・田原本工場:6679トン
・五條工場:4465トン

従業員 (全社) 139名 正社員 92名 パート他 47名 (平成23年2月現在)
(サイト別)・本社・新住工場:46名
・田原本工場:36名
・五條工場:36名
・対象外サイト:21名

床面積
・本社・新住:13600m²
・田原本工場:5811m²
・五條工場:6337m²

⑤事業内容

集成材の製造販売および住宅関連商品の販売

⑥沿革

昭和25年4月 貝本商店の創業
(創業者、現取締役相談役 貝本 輝司)
昭和28年4月 業界に先駆け集成材の製造販売開始(当社 元祖)
昭和40年4月 吉野銘木製造販売(株)に法人組織化
昭和45年1月 貝本木材工業(株)を新たに設立(株吉銘の前身)
昭和50年6月 株吉銘に社名変更
昭和52年7月 本社を橿原市に新築移転
昭和52年9月 株吉銘福山を設立
昭和55年9月 山陰営業所の開設
昭和58年8月 福岡営業所の開設
昭和58年9月 吉野郡大淀町に佐名伝工場を新設
昭和59年10月 岡山営業所の開設
昭和61年4月 吉野銘木製造販売(株)の集成材工場を製造部門として合併
昭和62年3月 東京支店の開設
平成2年3月 資本金7200万円に増資
平成5年9月 全自動別注造作材プレカットライン完成
平成6年2月 五條工場新設
平成6年9月 札幌営業所開設
平成7年2月 株東日本ウッドワークス中部設立
平成9年1月 桜井工場新設
平成12年6月 ISO9002認証取得
平成14年4月 田原本工場新設
平成15年3月 貝本木業(上海)有限公司設立
平成15年4月 ISO9001取得
平成16年10月 本社を下市町新住に移転、製造部門と統合
平成18年3月 本社(管理本部・新住工場)でエコアクション21の認証を取得
平成20年3月 一部認証範囲を拡大(田原本工場および五條工場を追加)

3. 環境目標と活動の実績

環境目標の設定

①本社及び3工場合計

		2006年 (37期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)	2013年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	2,048,626	1,546,018	1,482,006	1,461,520
			24. 5% 削減	27. 7% 削減	28. 7% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	310	82.3	80.8	79.2
			73. 5% 削減	74. 0% 削減	74. 5% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	19,869	13,702	13,504	13,305
			31. 0% 削減	32. 0% 削減	33. 0% 削減
化学物質	使用量(t/m3)				
			生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	3件以上	4件以上
環境配慮製品	使用割合(%)				
			化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

③田原本工場

(基準)

		2006年 (37期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)	2013年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	565,989	456,753	451,093	445,433
			19. 3% 削減	20. 3% 削減	21. 3% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	283	61.41	60.85	60.28
			78. 3% 削減	78. 5% 削減	78. 7% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	7,829	5230	5222	5214
			33. 2% 削減	33. 3% 削減	33. 4% 削減
化学物質	使用量(t/m3)				
			生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	3件以上	4件以上
環境配慮製品	使用割合(%)				
			化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

活動の実績

①本社及び3工場合計

		2006年 (37期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	2,048,626	1,586,807	1,696,908	1,542,410
	内訳				
	購入電力(kg-CO2/年)	1,410,845	1,150,363	1,162,814	1,170,520
	化石燃料(kg-CO2/年)	637,981	436,444	534,094	362,487
	生産量(トン)	11,139	9,804	11,391	14,384
廃棄物排出量	生産量当たり(kg-CO2/トン)	183.9	161.9	149.0	107.2
	総量(トン/年)	310	145	85	44
	生産量(トン)	11,139	9,804	11,391	14,384
	生産量当たり	0.028	0.015	0.007	0.003
	総量(m3/年)	19,869	14,102	13,844	10,894
総排水量	生産量(トン)	11,139	9,804	11,391	14,384
	生産量当たり(m3/トン)	1.784	1.438	1.215	0.757
	総量(トン/年)		207	243	255
	生産量(トン/年)		9804	11,391	14,384
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.021	0.021	0.018
化学物質	件数(件/年)			3	6
	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)			601	351
	化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)			2434	1,005
	認証材使用割合(%)			24.7%	34.9%

③田原本工場

(基準)

		2006年 (37期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	565,989	468,308	469,192	444,494
	内訳				
	購入電力(kg-CO2/年)	514,156	427,762	430,536	399,506
	化石燃料(kg-CO2/年)	51,833	40,546	38,656	44,988
	生産量(トン)	6,899	6,500	6,818	6,679
廃棄物排出量	生産量当たり(kg-CO2/トン)	82.0	72.0	68.8	66.6
	総量(トン/年)	283	127	62	18
	生産量(トン)	6,899	6,500	6,818	6,679
	生産量当たり	0.041	0.019	0.009	0.003
	総量(m3/年)	7,829	5,675	5,235	3,300
総排水量	生産量(トン)	6,899	6,500	6,818	6,679
	生産量当たり(m3/トン)	1.135	0.873	0.768	0.494
	総量(トン/年)		177.8	178.1	185.6
	生産量(トン/年)		6,500	6,818	6,679
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.027	0.026	0.028
化学物質	件数(件/年)				
	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)			0.000	0.000
	化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)			0.000	0.000
	認証材使用割合(%)			---	---

②本社・新住工場

(新基準)

		2006年 (37期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)	2013年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	612,131	479,911	473,789	467,668
			21. 6% 削減	22. 6% 削減	23. 6% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	24	17.76	16.8	15.84
			26. 0% 削減	30. 0% 削減	34. 0% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	6,963	4055	3967	3877
			41. 8% 削減	43. 0% 削減	44. 3% 削減
化学物質	使用量(t/m3)				
			生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	3件以上	4件以上
環境配慮製品	使用割合(%)				
			化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

④五條工場

(基準)

		2006年 (37期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)	2013年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2/年)	870,506	609,354	557,124	548,419
			30. 0% 削減	36. 0% 削減	37. 0% 削減
廃棄物排出量	総量 (トン/年)	3.3	3.14	3.14	3.10
			5% 削減	5% 削減	6% 削減
総排水量	総量 (m3/年)	5,077	4417	4315	4214
			13% 削減	15% 削減	17% 削減
化学物質	使用量(t/m3)				
			生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	3件以上	4件以上
環境配慮製品	使用割合(%)				
			化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上		

②本社・新住工場

(新基準)

		2006年 (37期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	612,131	492,152	507,937	575,408
	内訳				
	購入電力(kg-CO2/年)	486,774	431,543	445,002	503,070
	化石燃料(kg-CO2/年)	125,357	60,609	62,935	62,935
	生産量(トン)	2,373	1,250	1,450	3,240
廃棄物排出量	生産量当たり(kg-CO2/トン)	258.0	393.7	350.3	177.6
	総量(トン/年)	24	14	19	21
	生産量(トン)	2,373	1,250	1,450	3,240
	生産量当たり	0.010	0.011	0.013	0.006
	総量(m3/年)	6,963	4,111	4,158	4,681
総排水量	生産量(トン)	2,373	1,250	1,450	3,240
	生産量当たり(m3/トン)	2.934	3.289	2.868	1.445
	総量(トン/年)		20.28	21.220	25.000
	生産量(トン/年)		1,250	1,450	3,240
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.016	0.015	0.008
化学物質	件数(件/年)				
	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)			601	351
	化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)			2434	1005
	認証材使用割合(%)			24.7%	34.9%

④五條工場

(基準)

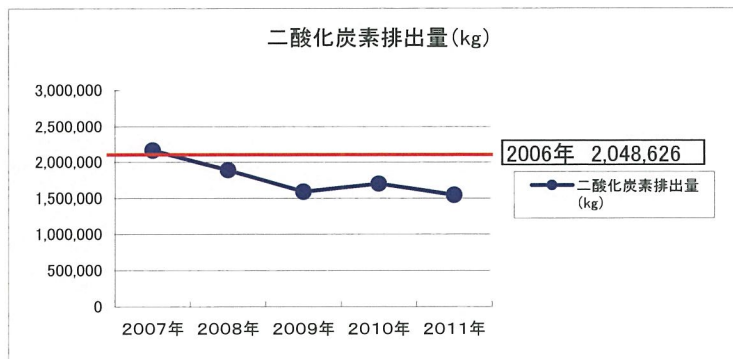
		2006年 (37期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	2011年 (42期)
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	870,506	626,347	719,780	522,508
	内訳				
	購入電力(kg-CO2/年)	409,715	291,058	287,276	267,944
	化石燃料(kg-CO2/年)	460,791	335,289	432,504	254,564
	生産量(トン)	1,867	2,054	3,123	4,465
廃棄物排出量	生産量当たり(kg-CO2/トン)	466.3	304.9	230.5	117.0
	総量(トン/年)	3.3	4.2	3.5	5.8
	生産量(トン)	1,867	2,054	3,123	4,465
	生産量当たり	0.002	0.002	0.001	0.001
	総量(m3/年)	5,077	4,318	4,451	2,903
総排水量	生産量(トン)	1,867	2,054	3,123	4,465
	生産量当たり(m3/トン)	2.719	2.101	1.425	0.650
	総量(トン/年)		44.240	44.160	44.220
	生産量(トン/年)		2,054	3,123	4,465
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.022	0.014	0.010
化学物質	件数(件/年)				
	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)			0.000	0.000
	化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)			0.000	0.000
	認証材使用割合(%)			---	---

※二酸化炭素排出量算定の排出係数： 購入電力0.378(kg-CO2/kWh) 灯油0.0679(kg-CO2/MJ) 液化石油ガス0.0598(kg-CO2/MJ) ガソリン0.0671(kg-CO2/MJ) 軽油0.0687(kg-CO2/MJ) (以降同様)

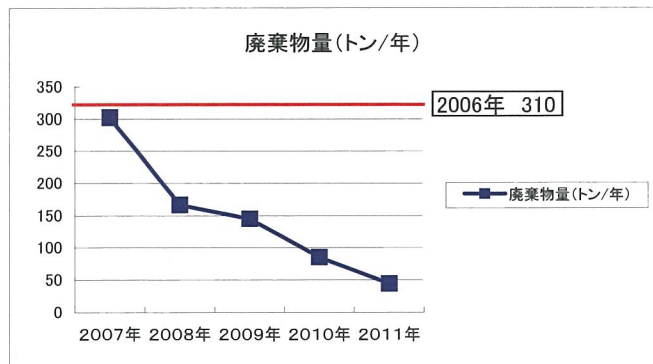
・実績の経過グラフ(CO2、廃棄物量、総排水量)

本社及び3工場(新住工場、田原本工場、五條工場)の合計量

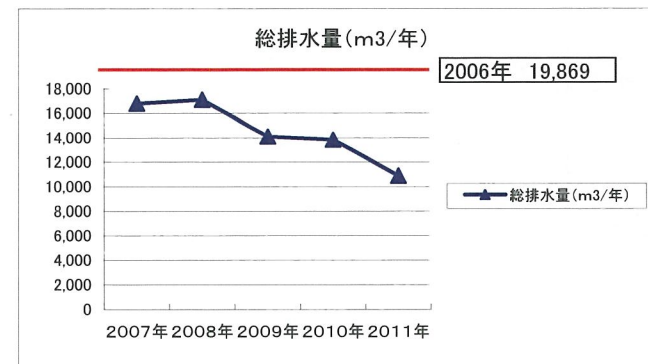
	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
二酸化炭素排出量(kg)	2,160,280	1,888,000	1,586,807	1,696,908	1,542,410



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
廃棄物量(トン/年)	303	166	145	85	44

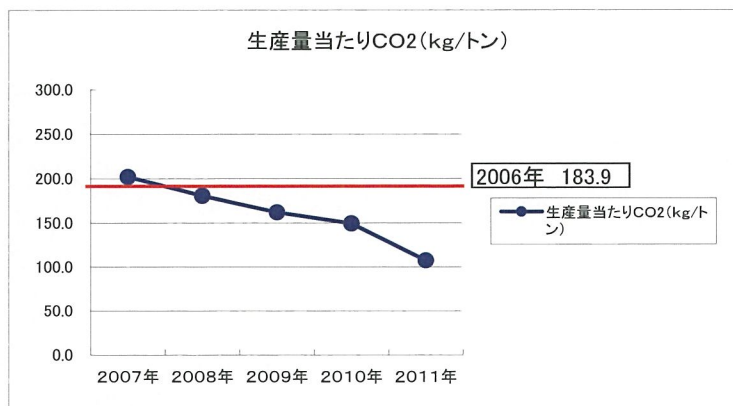


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
総排水量(m3/年)	16,786	17,120	14,102	13,844	10,884

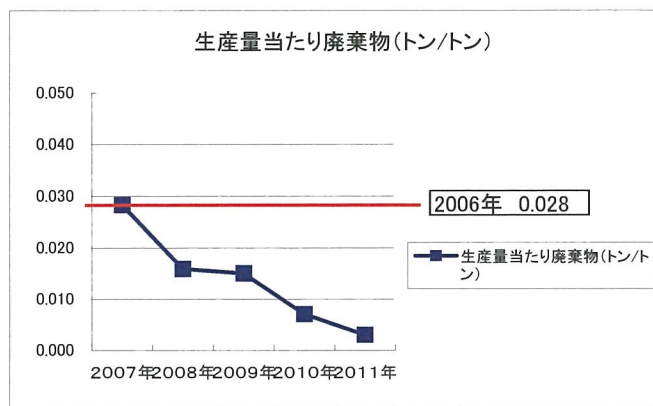


本社及び3工場(新住工場、田原本工場、五條工場)の生産量あたりの排出量

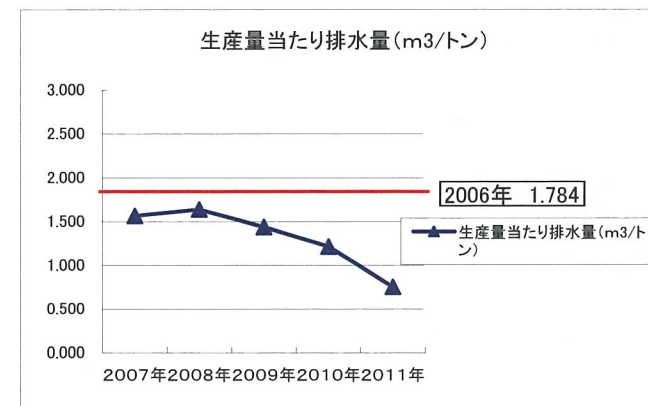
	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
生産量当たりCO2(kg/トン)	201.7	180.6	161.9	149.0	107.2



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
生産量当たり廃棄物(トン/トン)	0.028	0.016	0.015	0.007	0.003



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
生産量当たり排水量(m3/ト)	1.567	1.638	1.438	1.215	0.757



4. 環境目標の達成評価

① 本社及び3工場合計

		(基準)			
		2006年 (37期)	2011年 目標	実績	評価
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	2,048,626		1,537,170	◎
	基準に対する削減率(%)		24.5%	25.0%	
	生産量(トン)	11,139		14,384	
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	183.9		106.9	
	基準に対する削減率(%)			41.9%	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	310		44	◎
	基準に対する削減率(%)		73.5%	85.7%	
	生産量(トン)	11,139		14,384	
	生産量当たり	0.028		0.003	
	基準に対する削減率(%)			88.9%	
総排水量	総量(m3/年)	19,869		10,884	◎
	基準に対する削減率(%)		31.0%	45.2%	
	生産量(トン)	11,139		14,384	
	生産量当たり(m3/トン)	1.8		0.8	
	基準に対する削減率(%)			57.6%	
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		255	◎
	生産量(トン/年)			14,384	
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.018	
				生産量当たり使用量が 2009年と比べて同じ	
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	6件(以上)	◎
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		351	◎
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)			1005	
	認証材使用割合(%)			34.9%	
				目標達成	

② 本社・新住工場

		(新基準)			
		2006年 (37期)	2011年 目標	実績	評価
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	612,131		575,408	△
	基準に対する削減率(%)		21.6%	6.0%	
	生産量(トン)	2,373		3,240	
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	258.0		177.6	
	基準に対する削減率(%)			31.2%	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	24		20.5	△
	基準に対する削減率(%)		26.0%	16.0%	
	生産量(トン)	2,373		3,240	
	生産量当たり	0.010		0.006	
	基準に対する削減率(%)			38.5%	
総排水量	総量(m3/年)	6,963		4,681	△
	基準に対する削減率(%)		41.8%	32.8%	
	生産量(トン)	2,373		3,240	
	生産量当たり(m3/トン)	2.934		1.445	
	基準に対する削減率(%)			50.8%	
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		25.18	◎
	生産量(トン/年)			3,240	
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.008	
				2009年と比べて0.008ポ イント減	
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	2件以上	◎
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		351	◎
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)			1005	
	認証材使用割合(%)			34.9%	
				目標達成	

③ 田原本工場

		(基準)			
		2006年 (37期)	2011年 目標	実績	評価
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	565,989		439,254	◎
	基準に対する削減率(%)		19.3%	22.4%	
	生産量(トン)	6,899		6,679	
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	82.0		65.8	
	基準に対する削減率(%)			19.8%	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	283.00		18.0	◎
	基準に対する削減率(%)		78.3%	93.6%	
	生産量(トン)	6,899		6,679	
	生産量当たり	0.04		0.00	
	基準に対する削減率(%)			93.4%	
総排水量	総量(m3/年)	7,829		3,300	◎
	基準に対する削減率(%)		33.2%	57.8%	
	生産量(トン)	6,899		6,679	
	生産量当たり(m3/トン)	1.13		0.49	
	基準に対する削減率(%)			56.5%	
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		185.56	×
	生産量(トン/年)			6,679	
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.028	
				生産量当たり使用量が 2009年と比べて0.001ポ イント増	
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	2件	○
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		---	---
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)			---	
	認証材使用割合(%)			---	
				(該当製品の製造なし)	

④ 五條工場

		(基準)			
		2006年 (37期)	2011年 目標	実績	評価
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	870,506		522,508	◎
	基準に対する削減率(%)		30.0%	40.0%	
	生産量(トン)	1,867		4,465	
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	466.26		117.02	
	基準に対する削減率(%)			74.9%	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	3.30		5.82	△
	基準に対する削減率(%)		5.0%	-76.4%	
	生産量(トン)	1,867		4,465	
	生産量当たり	0.0018		0.0013	
	基準に対する削減率(%)			26.3%	
総排水量	総量(m3/年)	5,077		2,903	◎
	基準に対する削減率(%)		13.0%	42.8%	
	生産量(トン)	1,867		4,465	
	生産量当たり(m3/トン)	2.72		0.65	
	基準に対する削減率(%)			76.1%	
化学物質	総量(トン/年)	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		44.22	◎
	生産量(トン/年)			4,465	
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.010	
				2009年と比べて0.012ポ イント減	
グリーン購入	件数(件/年)		2件以上	2件	◎
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上		---	---
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)			---	
	認証材使用割合(%)			---	
				(該当製品の製造なし)	

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：購入電力0.378(kg-CO2/kWh) 灯油0.0679(kg-CO2/MJ) 液化石油ガス0.0598(kg-CO2/MJ) ガソリン0.0671(kg-CO2/MJ) 軽油0.0687(kg-CO2/MJ) (以降同様)

5-1. 本社・新住工場(目標対比:2006年度)

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																					
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 13.6%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※本社・新住工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合が高く(2010年度 約87.6%)、購入電力の削減が最も大きな課題である。	○多品種少量生産に対応すべく 切替時間の短縮を図る。	削減目標 13.6% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1287760</td><td>1330872</td><td>-3.3%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>486773.3</td><td>503070</td><td>-3.3%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>2373</td><td>3240</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>205.1</td><td>155.3</td><td>24.3%</td></tr></table> 昨年新規設備導入した設備の稼働が増えたため購入電力量が 昨年(2010年実績1177254kwh)より増加しましたが、生産量あたりの二酸化炭素排出量は昨年より改善しています。	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1287760	1330872	-3.3%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	486773.3	503070	-3.3%	生産量(t)	2373	3240		二酸化炭素排出量/生産量	205.1	155.3	24.3%	○購入電力/生産量だけでなく、 購入電力による二酸化炭素排出量の総量に おいても目標を達成できるよう生産性を追及していく。 ○照明の省エネを検討																	
	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																						
購入電力(kwh)	1287760	1330872	-3.3%																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	486773.3	503070	-3.3%																																							
生産量(t)	2373	3240																																								
二酸化炭素排出量/生産量	205.1	155.3	24.3%																																							
	化石燃料削減 目標 52.6%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。	○燃費の測定と運転手への省エネ運転の励行。	削減目標 52.57% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>125357</td><td>72338</td><td>42.3%</td></tr><tr><td>売上高(万円)</td><td>250187</td><td>195058</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/売上高</td><td>0.50</td><td>0.37</td><td>26.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	125357	72338	42.3%	売上高(万円)	250187	195058		二酸化炭素排出量/売上高	0.50	0.37	26.0%	○更なる省エネ運転・効率配送を目指し 改善に努める。 ○電気式フォークリフトの採用																					
項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																							
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	125357	72338	42.3%																																							
売上高(万円)	250187	195058																																								
二酸化炭素排出量/売上高	0.50	0.37	26.0%																																							
廃棄物削減	再資源化による推進 目標 26.0%	廃棄物の分別・再資源化 ○ダンボール ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 ○工場内配布書類(手配書等)は裏紙を使用 ○機密文書の再資源化	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○輸入梱包材の木パレットを釘のない部分を切断し、再資源化 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び循環資源として再生利用 ○事務書類を業者に破砕処理し、再生紙原料にする。	削減目標 26.0% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="5">廃棄物</td><td>事務所(紙)</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>工場(ダンボール)</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>4.05</td><td>0</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>20.4</td><td>20.5</td><td>-0.5%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>24.4</td><td>20.5</td><td>16.0%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>2373</td><td>3240</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.010</td><td>0.006</td><td>38.5%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません 今期は出先関連部門の整理により廃棄物量が増加しましたが 生産量あたりの排出量は昨年より改善しています。	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	廃棄物	事務所(紙)	0	0		工場(ダンボール)	0	0		工場(鉄)	0	0		廃プラ	4.05	0	100.0%	工場関連(その他)	20.4	20.5	-0.5%	廃棄物計	24.4	20.5	16.0%	生産量	2373	3240		廃棄物量/生産量	0.010	0.006	38.5%	○今まで資源化出来ていなかった物について 再度見直しを検討し削減に努める。
項目(単位:t)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																							
廃棄物	事務所(紙)	0	0																																							
	工場(ダンボール)	0	0																																							
	工場(鉄)	0	0																																							
	廃プラ	4.05	0	100.0%																																						
	工場関連(その他)	20.4	20.5	-0.5%																																						
廃棄物計	24.4	20.5	16.0%																																							
生産量	2373	3240																																								
廃棄物量/生産量	0.010	0.006	38.5%																																							
総削減水量 目標 41.8%	○ボイラーの給水装置の改善 ○事務所節水の徹底	ボイラーの燃料の木屑を再利用に回し、 余分な蒸気を発生させない様にする。	削減目標 41.8% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>6963</td><td>4681</td><td>32.8%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>2373</td><td>3240</td><td></td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>2.9</td><td>1.4</td><td>50.8%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	総排水量(m)	6963	4681	32.8%	生産量(t)	2373	3240		総排水量/生産量(m/t)	2.9	1.4	50.8%	○ボイラーの効率運転に努める。 ○事務所の節水を徹底し、削減に努める。																						
項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																							
総排水量(m)	6963	4681	32.8%																																							
生産量(t)	2373	3240																																								
総排水量/生産量(m/t)	2.9	1.4	50.8%																																							
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>20.28</td><td>21.22</td><td></td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>1250</td><td>3240</td><td></td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.016</td><td>0.007</td><td>59.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	20.28	21.22		生産量(トン/年)	1250	3240		生産量当たり使用量(t/m3)	0.016	0.007	59.6%	○現状の運用を維持する。																						
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																							
総量(トン/年)	20.28	21.22																																								
生産量(トン/年)	1250	3240																																								
生産量当たり使用量(t/m3)	0.016	0.007	59.6%																																							
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	目標 2件 実績 2件(以上)	活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>351</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>1005</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>34.9%</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)		351		化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)		1005		認証材使用割合(%)		34.9%		○認証木材購入の継続に努める。 ○現状の運用を継続する。																					
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																							
化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)		351																																								
化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)		1005																																								
認証材使用割合(%)		34.9%																																								
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集材の原材料において認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集材の原材料において認証材の使用割合10%以上 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>351</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>1005</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>34.9%</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)		351		化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)		1005		認証材使用割合(%)		34.9%		○認証木材購入の継続に努める。																						
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																							
化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)		351																																								
化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)		1005																																								
認証材使用割合(%)		34.9%																																								

5-2. 田原本工場(目標対比:2006年度)

PLAN		DO	CHECK	ACTION																																				
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 18.5%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ○電灯の効率利用を図る ※田原本工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2010年度 約91.8%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 18.48% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1360201</td><td>1056894</td><td>22.3%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>514156</td><td>399506</td><td>22.3%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>6899</td><td>6679</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>74.5</td><td>59.8</td><td>19.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1360201	1056894	22.3%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	514156	399506	22.3%	生産量(t)	6899	6679		二酸化炭素排出量/生産量	74.5	59.8	19.7%	○生産体制を見直し、購入電力削減に努める。 ○照明の省エネを検討															
	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																				
購入電力(kwh)	1360201	1056894	22.3%																																					
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	514156	399506	22.3%																																					
生産量(t)	6899	6679																																						
二酸化炭素排出量/生産量	74.5	59.8	19.7%																																					
化石燃料削減 目標 27.4%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示	削減目標 27.4% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>51833</td><td>44988</td><td>13.2%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>6899</td><td>6679</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>7.51</td><td>6.74</td><td>10.3%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	51833	44988	13.2%	生産量(t)	6899	6679		二酸化炭素排出量/生産量	7.51	6.74	10.3%	○更なる省エネ運転を目指す。 ○電気式フォークリフトの採用																				
項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																					
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	51833	44988	13.2%																																					
生産量(t)	6899	6679																																						
二酸化炭素排出量/生産量	7.51	6.74	10.3%																																					
廃棄物削減	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 ○焼却炉での木屑の単純焼却量を減らし、 再生利用に回す。	削減目標 78.3% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="4">廃棄物</td><td>木材(プレナー屑)</td><td>252.6</td><td>2.0</td><td>99.2%</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>30.4</td><td>0</td><td>47.4%</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td></td><td>16.0</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物計</td><td>283</td><td>18.0</td><td>93.6%</td></tr><tr><td colspan="2">生産量</td><td>6899</td><td>6679</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">廃棄物量/生産量</td><td>0.041</td><td>0.003</td><td>93.4%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物は工場関連(その他)に含まれています。	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	廃棄物	木材(プレナー屑)	252.6	2.0	99.2%	工場(鉄)		0		廃プラ	30.4	0	47.4%	工場関連(その他)		16.0		廃棄物計		283	18.0	93.6%	生産量		6899	6679		廃棄物量/生産量		0.041	0.003	93.4%	○木材(プレナー屑)のリサイクルを さらに推し進める。
項目(単位:t)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																					
廃棄物	木材(プレナー屑)	252.6	2.0	99.2%																																				
	工場(鉄)		0																																					
	廃プラ	30.4	0	47.4%																																				
	工場関連(その他)		16.0																																					
廃棄物計		283	18.0	93.6%																																				
生産量		6899	6679																																					
廃棄物量/生産量		0.041	0.003	93.4%																																				
総削減水量 目標 33.2%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底	○夏・冬で蒸気配管バルブの開閉を見直し実施 ○ボイラーの運転時間を夏・冬で見直し実施 ○人工乾燥に使用していた蒸気をボイラーの 給水タンクにもどす	削減目標 33.2% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>7829</td><td>3300</td><td>57.8%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>6899</td><td>6679</td><td></td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>1.1</td><td>0.5</td><td>56.5%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	総排水量(m)	7829	3300	57.8%	生産量(t)	6899	6679		総排水量/生産量(m/t)	1.1	0.5	56.5%	○焼却炉の燃焼量を少なくして 使用水量を削減する。																				
項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																					
総排水量(m)	7829	3300	57.8%																																					
生産量(t)	6899	6679																																						
総排水量/生産量(m/t)	1.1	0.5	56.5%																																					
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>177.8</td><td>185.6</td><td></td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>6500</td><td>6679</td><td></td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.027</td><td>0.028</td><td>-1.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	177.8	185.6		生産量(トン/年)	6500	6679		生産量当たり使用量(t/m3)	0.027	0.028	-1.6%	○現状の運用を維持する。																				
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																					
総量(トン/年)	177.8	185.6																																						
生産量(トン/年)	6500	6679																																						
生産量当たり使用量(t/m3)	0.027	0.028	-1.6%																																					
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 2件 実績 2件 活動の評価 ◎	○現状の運用を継続する。																																				
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集成材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>---</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0		化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0		認証材使用割合(%)		---		○2010年度は対象製品の生産はありませんでした。																				
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																																					
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0																																						
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0																																						
認証材使用割合(%)		---																																						

5-3. 五條工場(目標対比:2006年度)

PLAN		DO	CHECK	ACTION																											
二酸化炭素排出量削減	購入削減電力 目標 40.6%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※五條工場では二酸化炭素排出量に おける購入電力の割合は約39.9% (2010年度)	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 40.64% 活動の評価 △ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1083903</td><td>708846</td><td>34.6%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>409715</td><td>267944</td><td>34.6%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>1867</td><td>4465</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>219.5</td><td>60.0</td><td>72.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1083903	708846	34.6%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	409715	267944	34.6%	生産量(t)	1867	4465		二酸化炭素排出量/生産量	219.5	60.0	72.7%	○各生産設備の生産性を上げることで 生産量あたりの二酸化炭素排出量を削減する。 ○照明の省エネを検討						
	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																											
購入電力(kwh)	1083903	708846	34.6%																												
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	409715	267944	34.6%																												
生産量(t)	1867	4465																													
二酸化炭素排出量/生産量	219.5	60.0	72.7%																												
使用量削減 目標 20.5%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○灯油ボイラーによるラミナの 人工乾燥の効率化を図る。	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 ○灯油ボイラーによる人工乾燥方法の変更を検討	削減目標 20.54% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>460791</td><td>254564</td><td>44.8%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>1867</td><td>4465</td><td></td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>246.81</td><td>57.01</td><td>76.9%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	460791	254564	44.8%	生産量(t)	1867	4465		二酸化炭素排出量/生産量	246.81	57.01	76.9%	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラーの灯油使用量を削減する。 ○電気式フォークリフトの採用 ○社内他工場にバイオマスボイラーの設備を検討 (木材乾燥のエネルギーを灯油から木屑へ検討)											
項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																												
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	460791	254564	44.8%																												
生産量(t)	1867	4465																													
二酸化炭素排出量/生産量	246.81	57.01	76.9%																												
廃棄物削減	再資源化による 推進 目標 4.8%	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 ○工場内配布書類(手配書等)は 裏紙を使用	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用	削減目標 4.85% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="3">廃棄物</td><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>3.3</td><td>0</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>5.82</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>3.3</td><td>5.82</td><td>-76.4%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>1867</td><td>4465</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.0018</td><td>0.0013</td><td>26.3%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません (補足説明) 基準年(2006年)の廃棄物排出量は本来2006年度に 排出されるはずの廃棄物4.26tが2007年に処理された為、 本来より低い数値となっている。	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	廃棄物	工場(鉄)	0		廃プラ	3.3	0	工場関連(その他)	5.82		廃棄物計	3.3	5.82	-76.4%	生産量	1867	4465		廃棄物量/生産量	0.0018	0.0013	26.3%	○来期はパレット等工場関連廃棄物の 資源化を進める。
	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																											
廃棄物	工場(鉄)	0																													
	廃プラ	3.3	0																												
	工場関連(その他)	5.82																													
廃棄物計	3.3	5.82	-76.4%																												
生産量	1867	4465																													
廃棄物量/生産量	0.0018	0.0013	26.3%																												
総削減水量 目標 0.2%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底 ※五條工場ではラミナ(製品を構成する 板)を乾燥するためのボイラーに水を 使用している。 (※ラミナとは製品を構成する板材のこと)	○水道水使用量を毎月確認する。	削減目標 0.2% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2006年 (37期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>5077</td><td>2903</td><td>42.8%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>1867</td><td>4465</td><td></td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>2.7193</td><td>0.6502</td><td>76.1%</td></tr></table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	総排水量(m)	5077	2903	42.8%	生産量(t)	1867	4465		総排水量/生産量(m/t)	2.7193	0.6502	76.1%	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラー使用水の削減する。 ○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を 効率運用する。											
項目(単位)	2006年 (37期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																												
総排水量(m)	5077	2903	42.8%																												
生産量(t)	1867	4465																													
総排水量/生産量(m/t)	2.7193	0.6502	76.1%																												
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>44.24</td><td>44.22</td><td></td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>2054</td><td>4465</td><td></td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.022</td><td>0.010</td><td>54.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	44.24	44.22		生産量(トン/年)	2054	4465		生産量当たり使用量(t/m3)	0.022	0.010	54.0%	○現状の運用を維持する。											
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)	削減率 (%)																												
総量(トン/年)	44.24	44.22																													
生産量(トン/年)	2054	4465																													
生産量当たり使用量(t/m3)	0.022	0.010	54.0%																												
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 2件 実績 2件 活動の評価 ◎	○現状の運用を継続する。																											
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集成材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2009年 (40期)</td><td>2011年 (42期)</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td></td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td></td><td>---</td><td></td></tr></table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)		化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0		化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0		認証材使用割合(%)		---		2010年度は対象製品の生産はありませんでした。											
項目(単位)	2009年 (40期)	2011年 (42期)																													
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0																													
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0																													
認証材使用割合(%)		---																													

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する環境関連法規は次の通りです

①本社・新住工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	焼却炉	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○

②田原本工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○

③五條工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○

過去3年間、関係当局より違反の指摘はありません。

環境関連法規について自主的に見直した結果、不備はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境マネジメントシステムのプロセスは定着している。

2011年度の対象組織全体の活動結果は二酸化炭素排出量を除き目標を達成している。

二酸化炭素排出量については生産量増加のための新規設備導入によるもので、今後はさらに排出総量はもちろんのこと生産量あたりの排出量の削減に務めたい。

また各部署の活動結果にはばらつきがあるので来期は各部署の未達部門について見直していきたい。

平成24年2月23日 代表取締役社長 貝本 隆三

次回の環境レポートは平成25年3月の予定です。